

「秋田市6次産業化に関する意向調査」報告書

第1章 秋田市6次産業化に関する意向調査の概要・・・・・・・・・・P1

第2章 調査結果の概要

1 共通設問について・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2～3

2 農業者を対象とした設問について・・・・・・・・・・P4～9
(参考)農業者の基本属性について・・・・・・・・・・P10

3 商工業者を対象とした設問について・・・・・・・・・・P11～17
(参考)商工業者の基本属性について・・・・・・・・・・P18

参考資料 秋田市6次産業化に関する意向調査（農業者用）

秋田市6次産業化に関する意向調査（商工業者用）

平成24年12月
秋田市農林部農林総務課

第1章 秋田市6次産業化に関する意向調査の概要

1 目的

秋田市内の農業者および事業者の6次産業化に関するニーズや意識を把握し、本市関連施策の検討・推進にあたっての基礎資料とすることを目的とする。また、併せて、販売拡大が見込める地元農産加工品の発掘調査も実施した。

2 調査概要

(1) 調査期間 平成24年7月27日（金）～平成24年8月31日（金）

(2) 実施方法 郵送によるアンケート方式

(3) 対象件数 549件

（内訳）①認定農業者および若手農業者 430件
②商工業者（市内食品製造業者等）119件

(4) 回答件数 243件（回答率44.2%）

（内訳）①認定農業者および若手農業者 194件（45.1%）
②商工業者（市内食品製造業者等）48件（40.3%）
※無効扱い（廃業した旨の回答） 1件

(5) 有効回答者の基本属性

①認定農業者および若手農業者

ア 性別

男性93.8%、女性6.2%と男性の意見が強く出る結果となっている。

イ 年代

60～69歳が52.1%と最も多い。

50歳以上は全体の90.3%を占め、農業者の高齢化を反映している。

ウ 居住地域

雄和地域が26.3%と最も多いほか、河辺、太平、金足など農業従事者が多い地域からの回答が目立った。

エ 農業の形態

専業農家が67.5%と最も多い。

オ 同居家族

親子2世代が42.8%と最も多いほか、親子・孫3世代も29.9%と比較的多い。

②商工業者（市内食品製造業者等）

ア 主な事業

食料品製造業が33.3%、食料品製造小売業が29.2%、食料品卸売業が

22.9%となっている。

イ 主な製造・販売製品

その他が43.8%最も多い。豆腐や酒類、清涼飲料水、きりたんぼ製造等、多岐にわたる。

ウ 主な出荷先

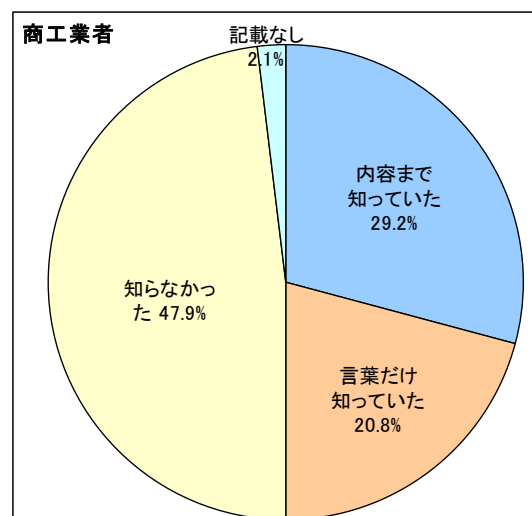
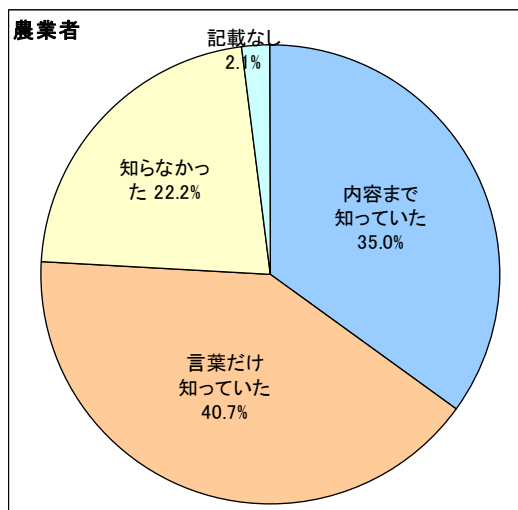
秋田市内在が54.2%と約半数を占める。次いで関東・東北地方と続く。国外との取引があるのは、全部と回答した1件のみであった。

第2章 調査結果の概要

1 共通設問について

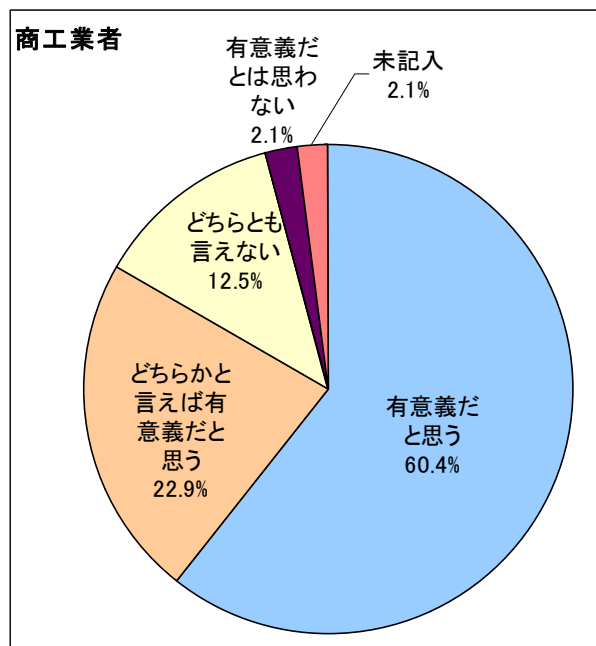
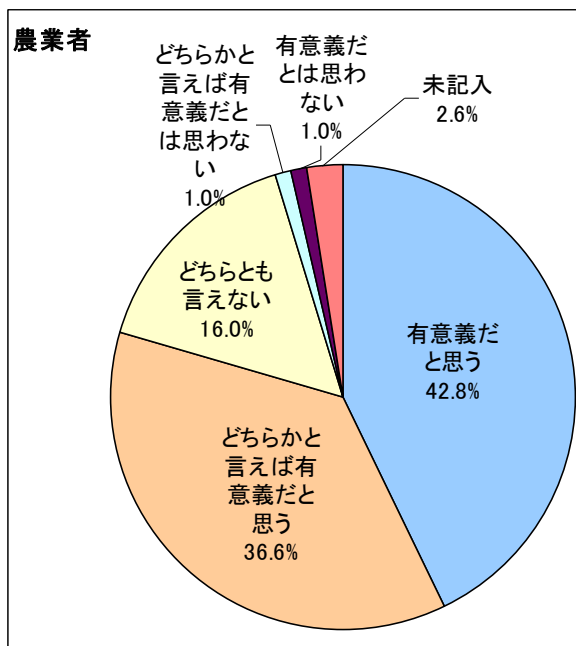
あなたは6次産業化ということばを知っていましたか。次の中から1つ選んで番号を記入して下さい。

6次産業化に対する認知度については、農業者の概ね4分の3（75.7%）が内容または言葉だけ知っていたのに対し、商工業者は、半数の50.0%となっており、認知度の違いが表れている。



6次産業化とは、生産（1次産業）と加工（2次産業）、販売（3次産業）を一体化して、地域に新しい付加価値を生み出そうとする取組です。あなたは6次産業化を進めようという取組は、秋田市の産業振興にとって有意義なものだと思いますか。次の中から1つ選んで番号を記入してください。

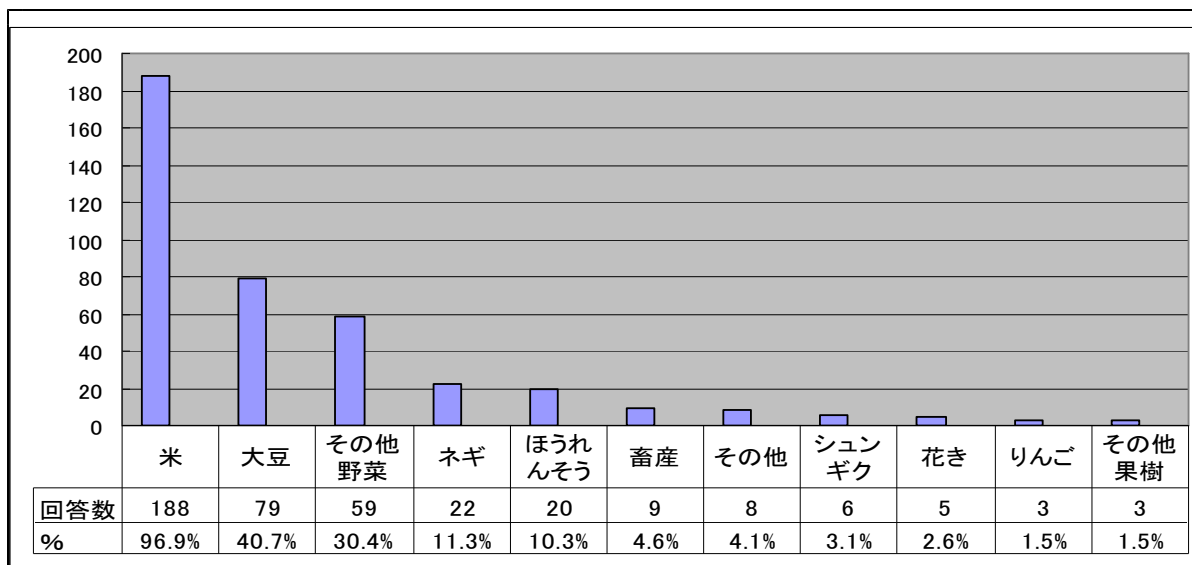
6次産業化に対する認識については、有意義だと思うと回答した割合が、農業者が42.8%であったのに対し、商工業者は60.4%となっている。商工業者のほうが6次産業化の取組を新たなビジネスチャンスと捉えており、期待度の高さが伺える。



2 農業者を対象とした設問について

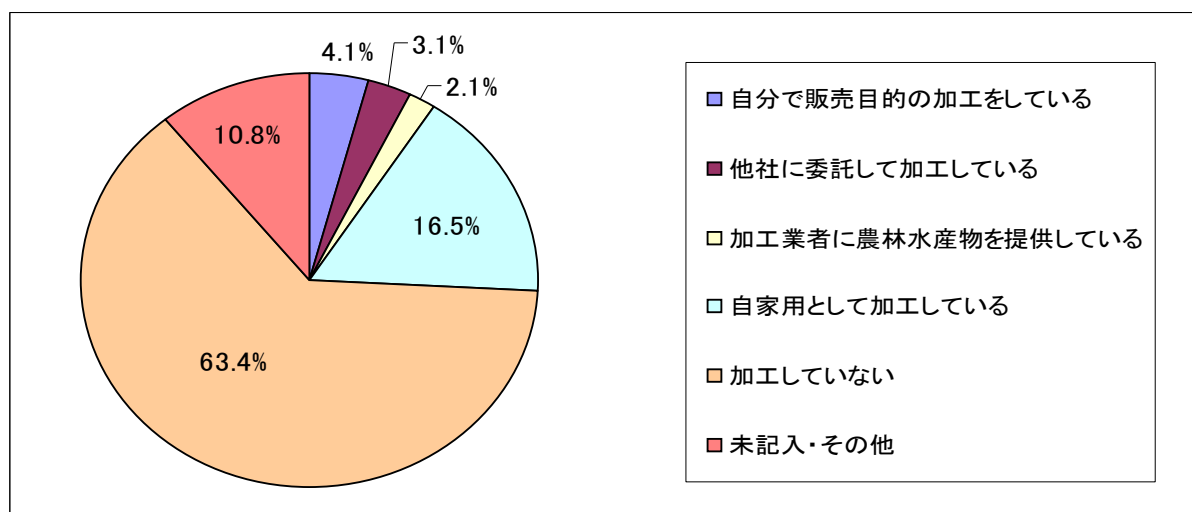
問3 あなたの世帯で生産している農林水産物は何ですか。次の中から生産量の上位4つ以内を選んで番号を記入してください。

農地のほとんどが水田である本市の生産構造を反映し、米が96.9%とほぼ全員が稲作に取り組んでいる。併せて大豆や野菜類を生産している農家も見られたが、割合は少ない。



問4 あなたの世帯で生産している農林水産物で、現在、加工に取り組んでいるものはありますか。次の中から1つを選んで番号を記入してください。

「加工していない」が63.4%と最も多い。加工に取り組んでいると回答したなかでも、16.5%が自家用として加工している現状にあり、産業としての加工への取組はまだ少ない。



(以下の設問は、問4で「自分で販売目的の加工をしている」「他社に委託して加工している」と答えた場合に記入)

問5 あなたの世帯で、販売目的に加工している主な農林水産物は何ですか。農林水産物名とその加工品を記入してください。

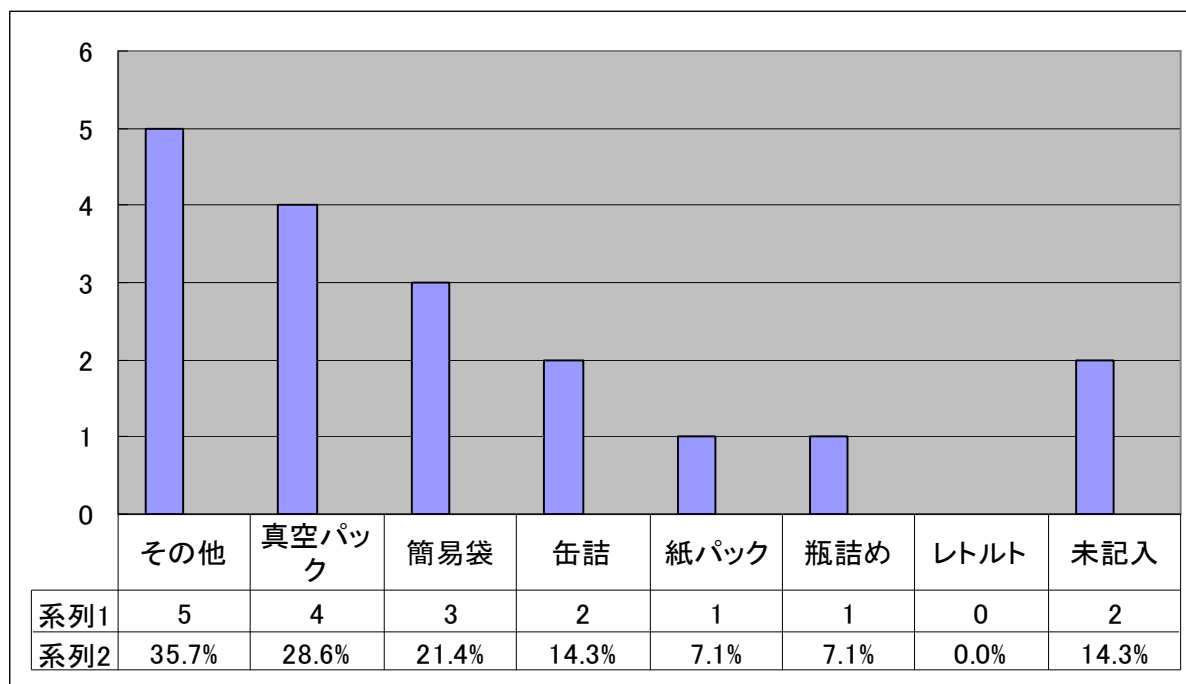
米を使用した総菜やりんごジュース、漬け物など、取り組み事例は少ないながら、さまざまな農林水産物を活用したが行われている。(有効回答件数は14件)

農林水産物	件数	加工品
米(もち米含む)	5	あられ、笹巻き、赤飯、おこわ、米粉
りんご	3	ジュース
だいこん	1	いぶりがっこ
なす、だいこん	1	漬け物
なす、ピーマン、かぼちゃ等	1	天ぷらセット
大豆	1	味噌
なたね	1	なたね油・種
豚肉	1	スライス加工し商品化

問6 その加工品の形態は何ですか。次の中から主なもの3つ以内を選んで番号を記入してください。

「真空パック」や「簡易袋」を活用した加工が行われている。

「その他」の内訳(自由記載)は、トレーパック、プラ容器、ポリ袋詰め、トレイをラップ、缶ジュースとなっている。



問7 その加工品の販売先はどちらですか。次の中から主な所を1つ選んで番号を記入してください。

関東地方への販売が一部見られるものの、秋田市内での販売が中心となっている（11件）。

加工品の販路は、現時点ではごく狭い範囲での展開に限定されていることがわかる。

項目	回答数
秋田市内	11
秋田市以外の秋田県内	0
東北地方	0
関東地方	3
東北・関東地方以外の国内	0
国外	0
未記入	0
計	14

問8 加工手法はどうなっていますか。次の中から1つ選んで番号を記入してください。

半数以上の57.1%が、「自前の設備」で加工に取り組んでいる。

そのほかは、県内外の企業等に外部発注をしている。

項目	回答数	%
自前の設備で加工	8	57.1%
公共の設備を借りて加工	0	0.0%
他社・他人の設備を借りて加工	0	0.0%
県内の企業等に外注し加工	2	14.3%
県外の企業等に外注し加工	3	21.4%
その他	1	7.1%
未記入	0	0.0%
計	14	

問9 あなたの世帯では、今後加工にどのように取り組みたいとお考えですか。次の中から1つ選んで番号を記入してください。

新たな加工に向けた取組や加工量の拡大など6次産業化への取組意欲（8件）が見られた一方で、「縮小したい」（4件）、「加工をやめたい」（2件）という意見も一定程度見られ、加工実践者が現状を変える必要性を感じていることがわかる。

項目	回答数	%
新たな加工に取り組みたい	3	21.4%
加工量を拡大していきたい	5	35.7%
現状維持したい	0	0.0%
加工量を縮小したい	4	28.6%
加工をやめたい	2	14.3%
計	14	

(以下の問は、問4で「加工業者に農林水産物を提供している」「自家用として加工している」「加工していない」と答えた場合に記入)

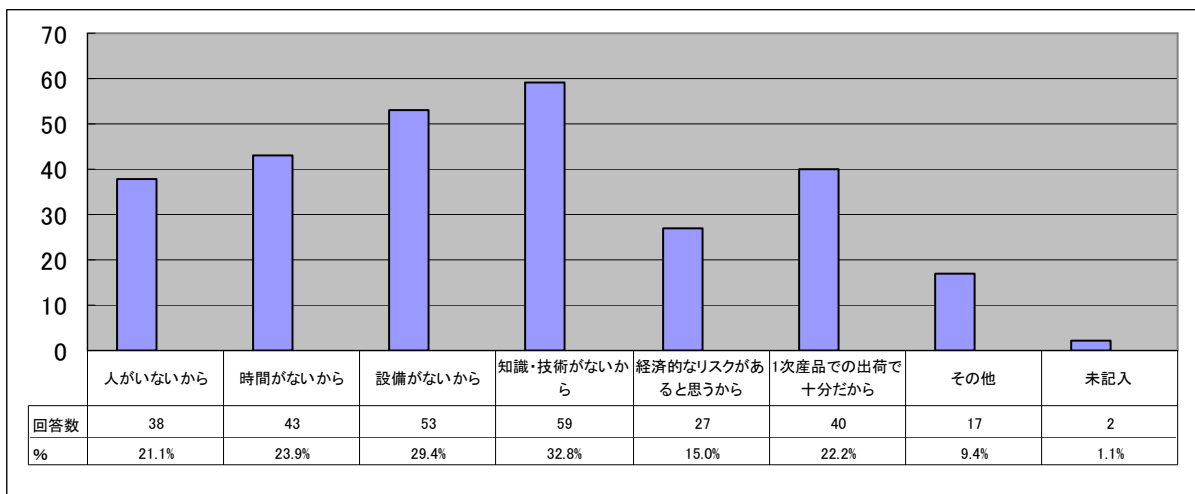
問10 あなたの世帯が加工に取り組んでいない理由は何ですか。次の中から2つ以内を選んで番号を記入してください。

「加工の知識・技術がないから」が32.8%と最も高かったが、設備や人材、時間の不足といった理由も20%台を占めている。

その他の理由（事由記載）の主な回答は、下記のとおり。

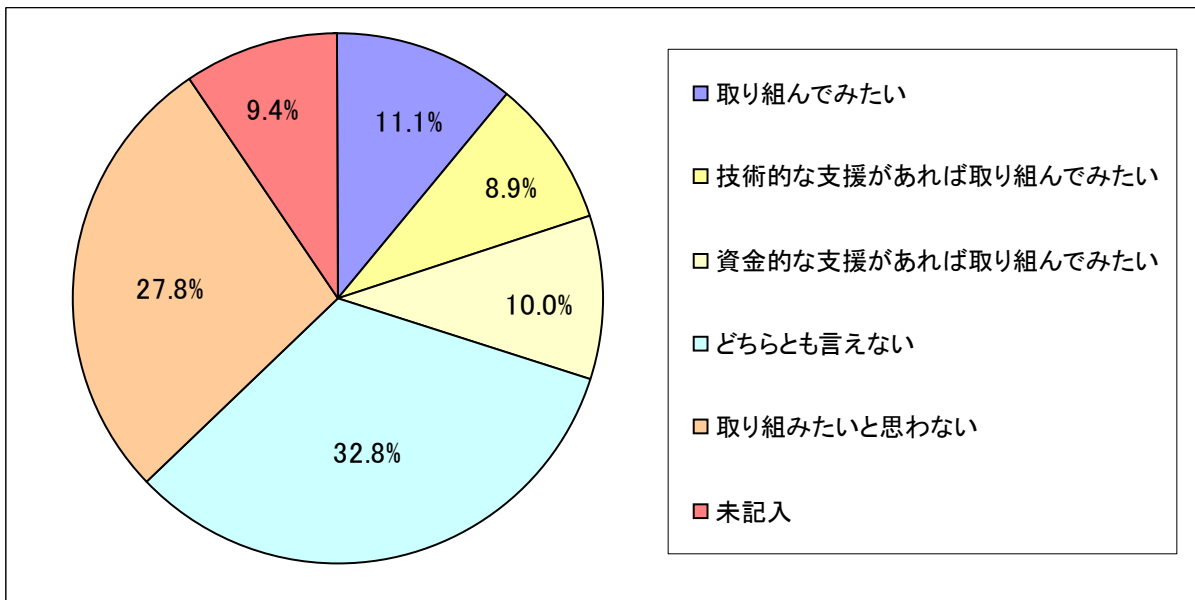
- ・「稲作しか出来ない」
- ・「何が売れるのか分らない」
- ・「販路がない」
- ・「必要性を感じない」
- ・「生産するので精一杯」
- ・「加工所がない」
- ・「生産物が少量のため」

問10関係グラフ



問11 あなたの世帯では今後、自分で生産した農林水産物の加工に取り組んでみたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号を記入してください。

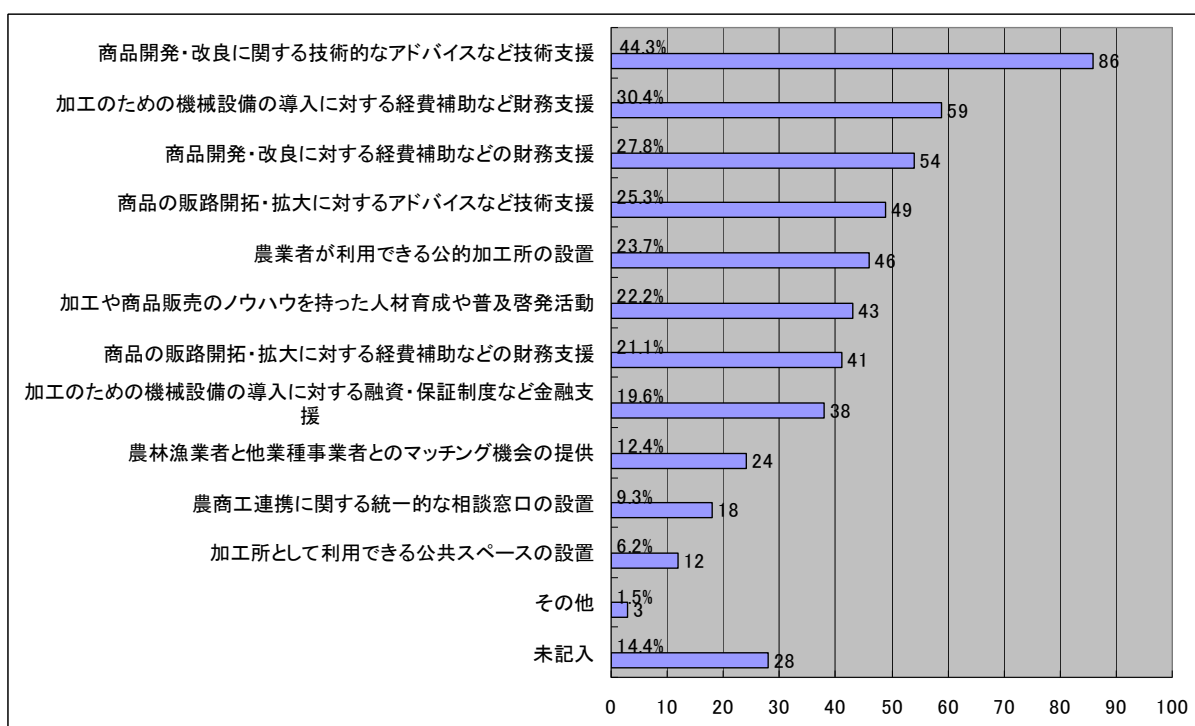
「取り組んでみたい」や「技術面や資金面での支援があれば取り組んでみたい」といった積極的意見は、合わせて30%と概ね3分の1となっている。一方「取り組みたいと思わない」といった消極的な意見も27.8%と同程度の割合となっている。



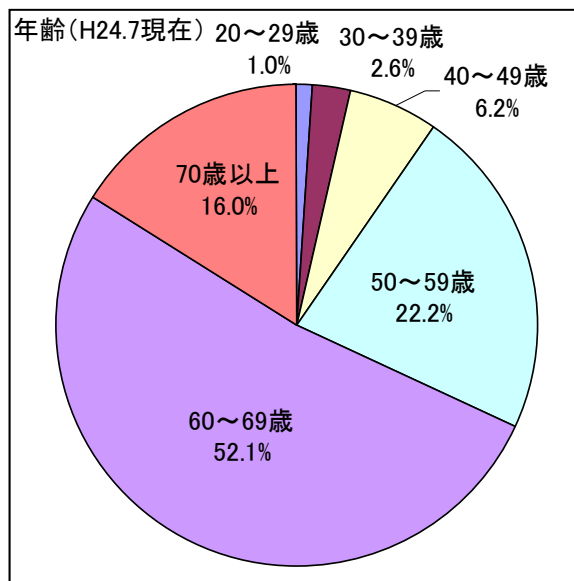
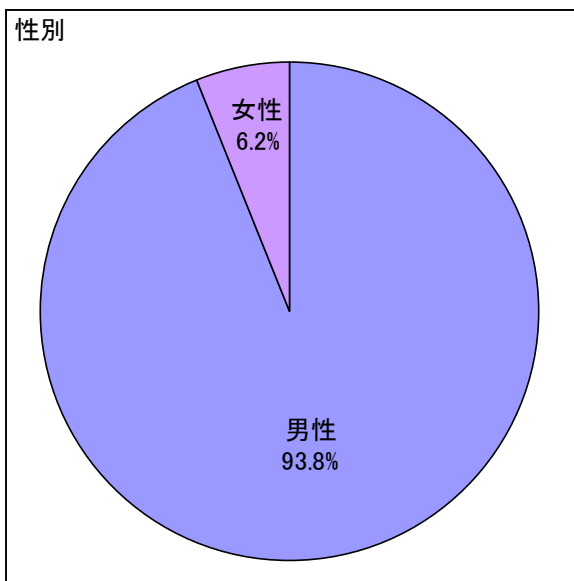
(以下の問は、すべての対象者が記入)

問12 あなたは（記入された方のお考えで結構です）、農業者が自ら生産した1次製品の加工や商品開発・改良に取り組むためには、どのような行政支援が有効だと思いますか。次の中から3つ以内を選んで番号を記入してください。

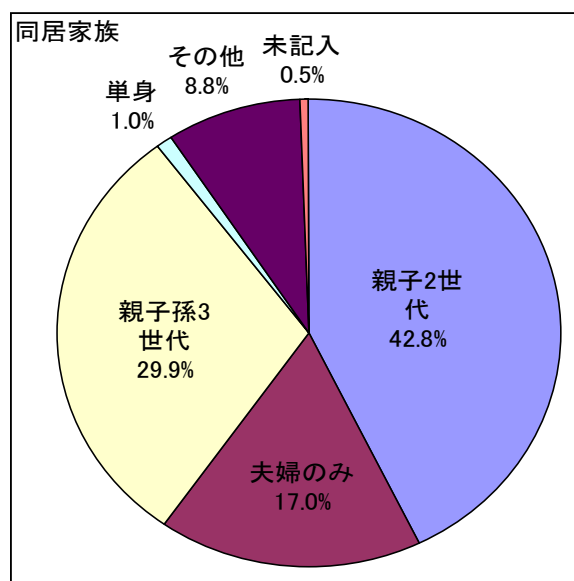
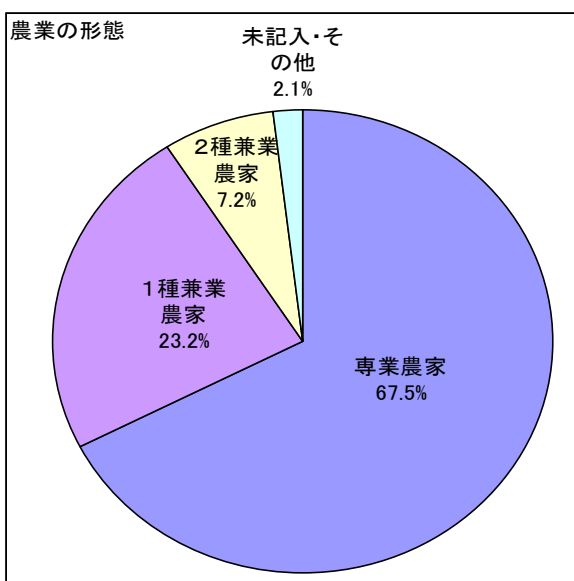
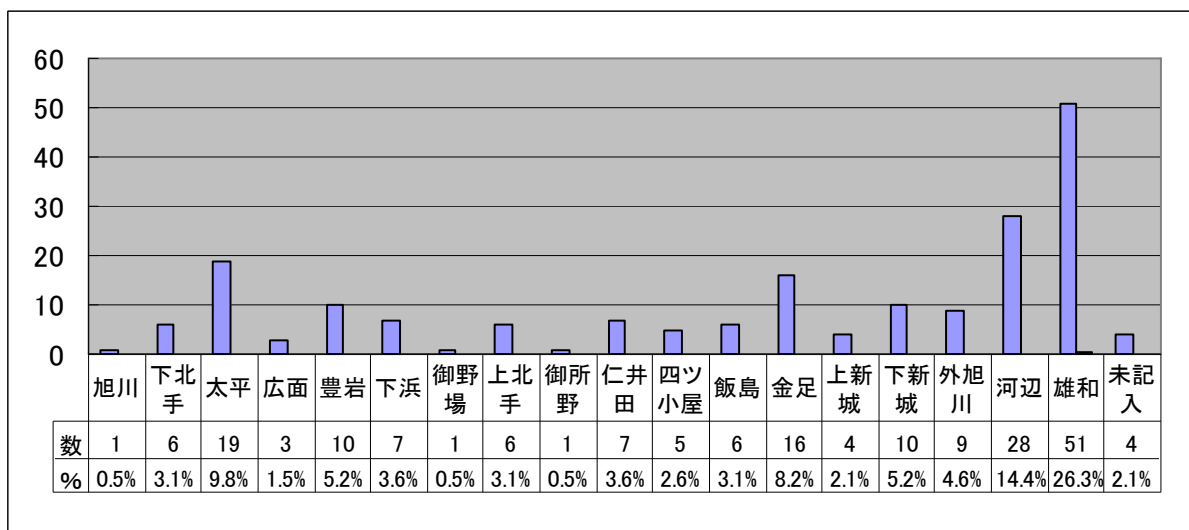
「商品開発・改良に関する技術的なアドバイスなど技術支援」が44.3%と最も多い。次いで「加工のための機械設備の導入に対する経費補助など財務支援」（30.4%）、「商品開発・改良に対する経費補助などの財務支援」（27.8%）の順となっている。



(参考) 農業者の基本属性について



居住地

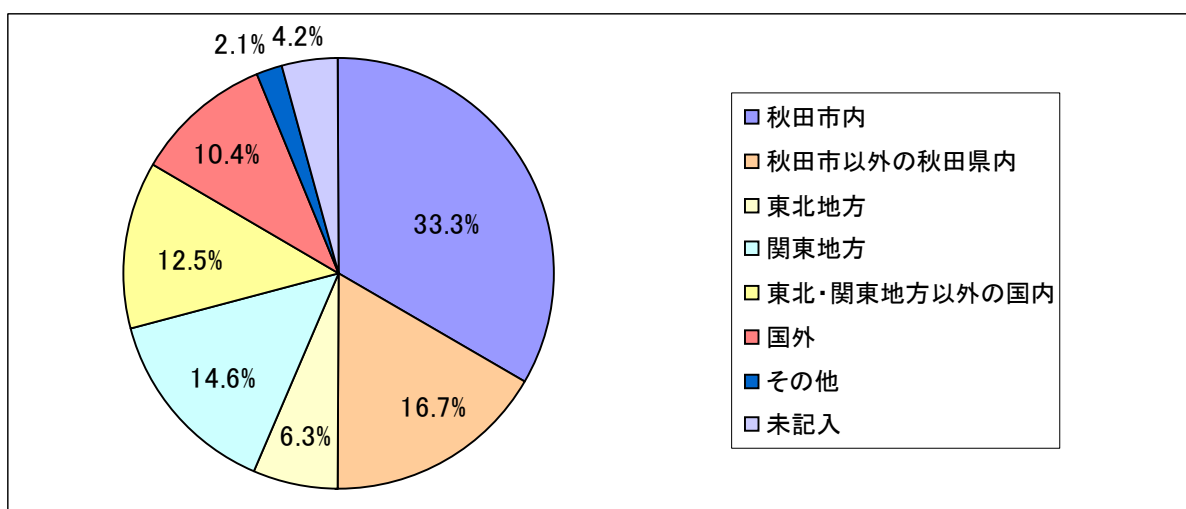


3 商工業者を対象とした設問について

問6 貴社の原材料又は商品の主な仕入先はどちらですか。次の中から1つ選んで番号を記入してください。

「秋田市内」からの仕入れが最も多く、全体の約3割を占めており、「秋田市以外の秋田県内」と合わせて50.0%が県内からの仕入れとなっている。

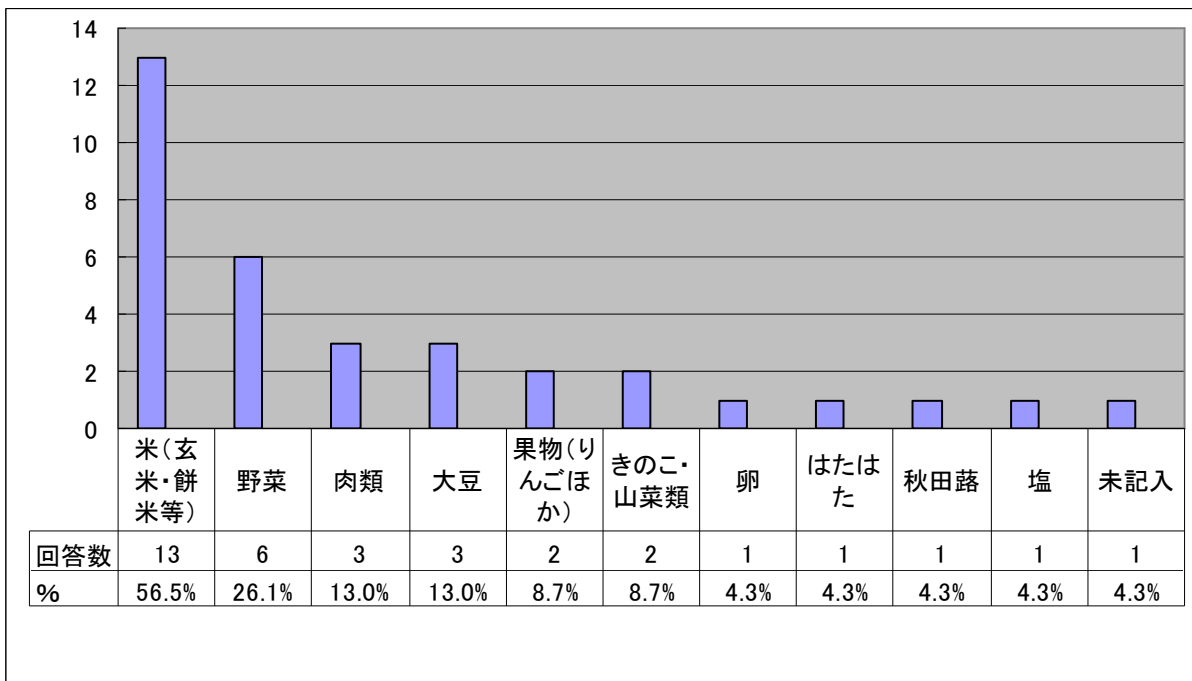
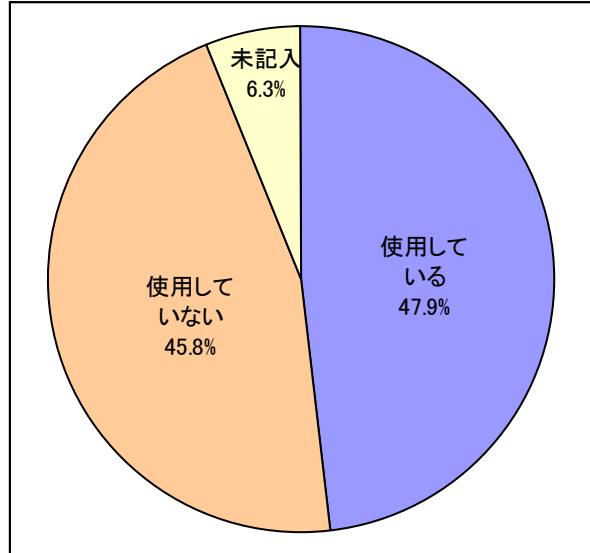
また、北米（アメリカ、カナダ）や欧州（フランス・イタリア）など国外から原材料や商品を仕入れている事業所も10.4%あった。



問7 貴社では、原材料や商品のうち、一部でも秋田市内で産出された農林水産品を使用していますか。次の中から1つ選んで番号を記入してください。
また、使用している場合はその農林水産品を3つまでご記入ください。

食品製造業および食品製造小売業を中心に、秋田市内産の農林水産品を使用しているとの回答が47.9%あった。

使用している農林水産品は、米が最も多く(56.5%)、以下、ほうれんそうや青梗菜といった野菜(26.1%)、肉類(13.0%)、大豆(13.0%)の順となっている。



(問7で「使用している」と答えた場合に記入)

問8 貴社では、秋田市内で産出された農林水産品の使用について、今後、どのようにしたいと考えていますか。次の中から1つ選んで番号を記入してください。また、そう考えている理由をご記入下さい。

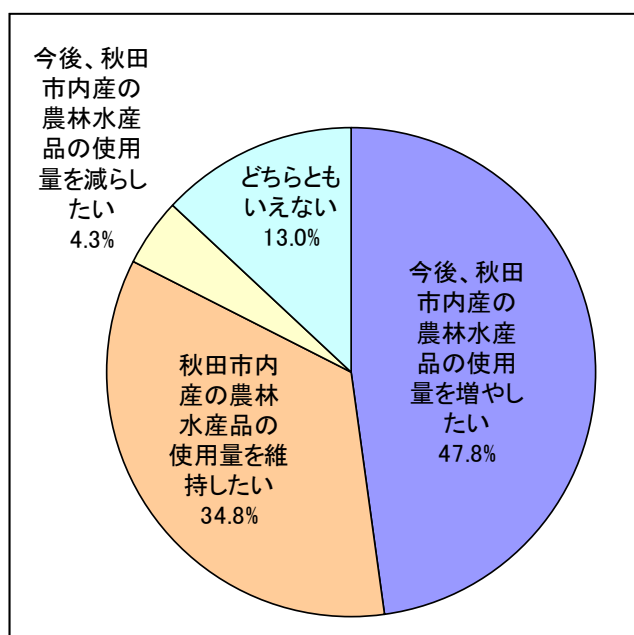
「今後、秋田市内産の農林水産品の使用量を増やしたい」という回答が最も多く、47.8%を占めている。一方、「今後、秋田市内産の農林水産品の使用量を減らしたい」という回答は4.3%にとどまっており、既に市内産品を使用している企業の地元産品の活用意欲は高いといえる。

【増やしたい主な理由】

- ・「地元企業として地元産を使用したい」
- ・「地域の中核企業として、地元と共に発展する為」
- ・「品質が良く安全」
- ・「味がよい」

【思わない主な理由】

- ・「市内産の生産量が少ない」
- ・「価格が高い」



(問7で「使用していない」と答えた場合に記入)

問9 貴社では、秋田市内で産出された農林水産品の使用について、今後、どのようにしたいと考えていますか。次の中から1つ選んで番号を記入してください。また、そのように考える理由と使用したい農林水産品名についてもお答えください。

「どちらともいえない」という回答が54.5%と最も多く、「市内産農林水産品を使用してみたい」という回答は18.2%にとどまっている。

【使用してみたい主な理由】

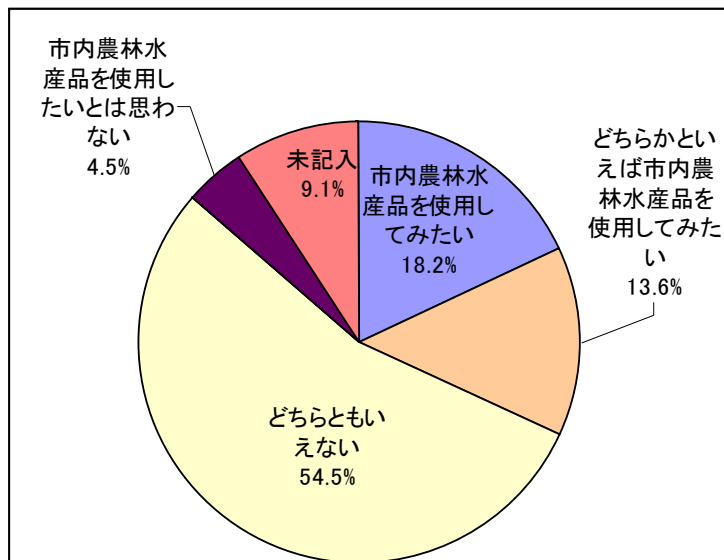
- ・「特徴づけが出来る」
- ・「学校給食分野での地産地消の取組への協力」
- ・「地域農業への貢献」

【思わない主な理由】

- ・「使用している原料が市内および県内では生産されていない」

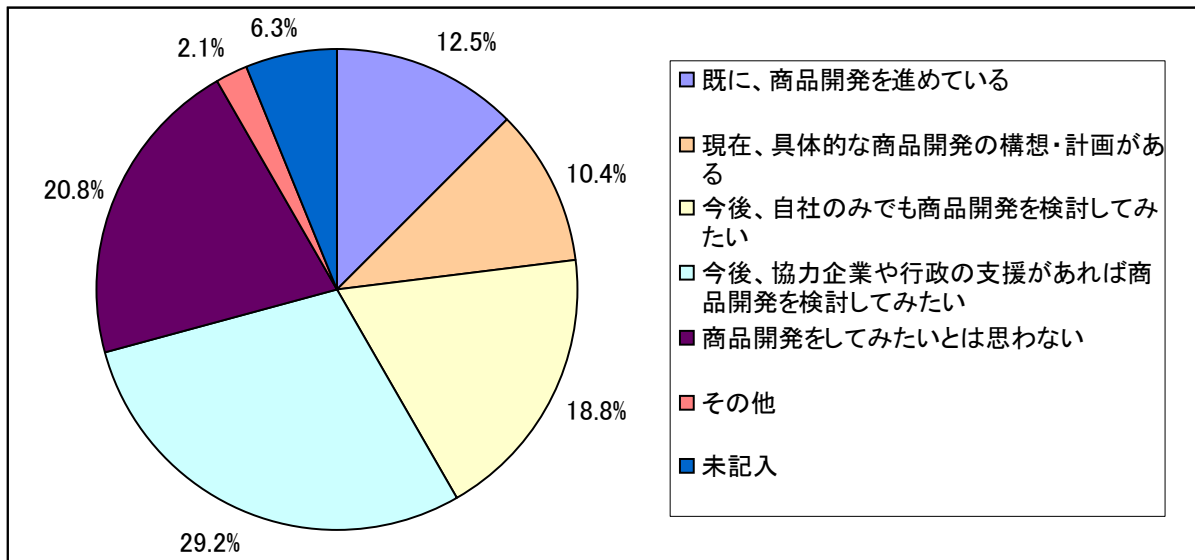
【使用したい農林水産品名】 (複数回答)

- ・「ほうれん草、小松菜、アスパラガス、枝豆(ムキ身)など」
- ・「きりたんぼの食材」
- ・「小豆、芋、栗など和菓子の素材」
- ・「米、大豆、枝豆、ほおずき、こはぜなど」



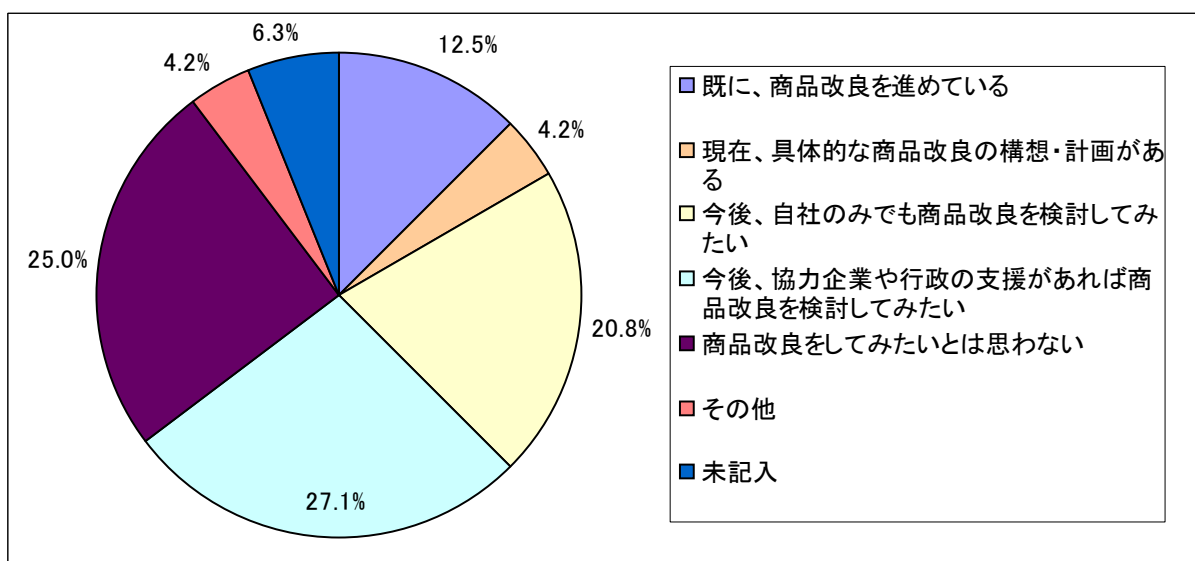
問10 貴社では、秋田市内や秋田県内の農林水産品を活用した商品開発をしてみたいと思いますか。

「既に、商品開発を進めている」が12.5%あったほか、構想・計画や今後検討の意向があるとの回答も多く見られた。特に、「今後、協力企業や行政の支援があれば商品開発を検討してみたい」という回答が29.2%と3割近くを占めている。



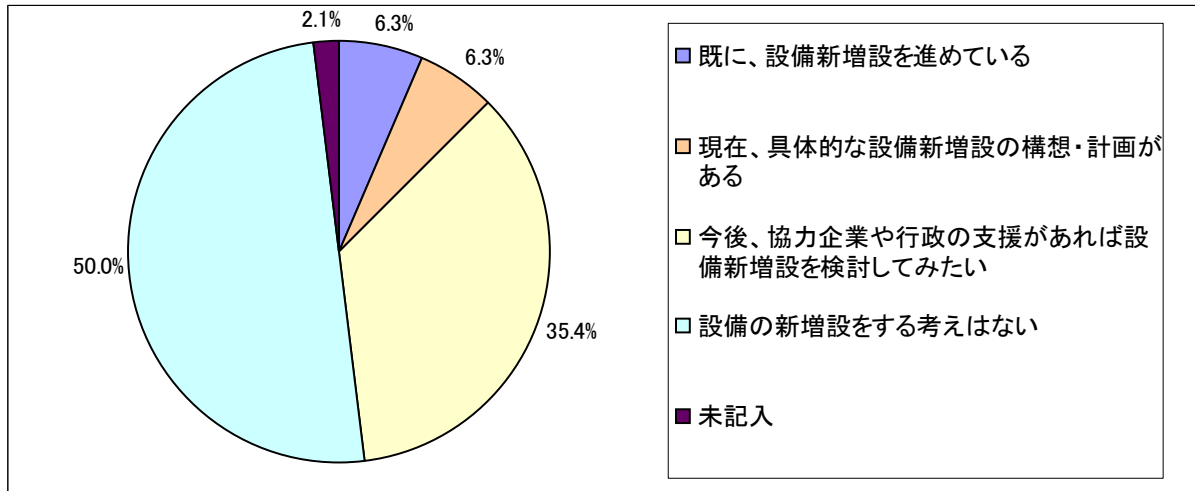
問11 貴社では、秋田市内や秋田県内の農林水産品を活用して既存商品の改良をしてみたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号を記入してください。

商品の改良については、問10の商品開発に関する調査とほぼ同様の結果となっている。「今後、協力企業や行政の支援があれば商品改良を検討してみたい」という回答が27.1%と高くなっている。



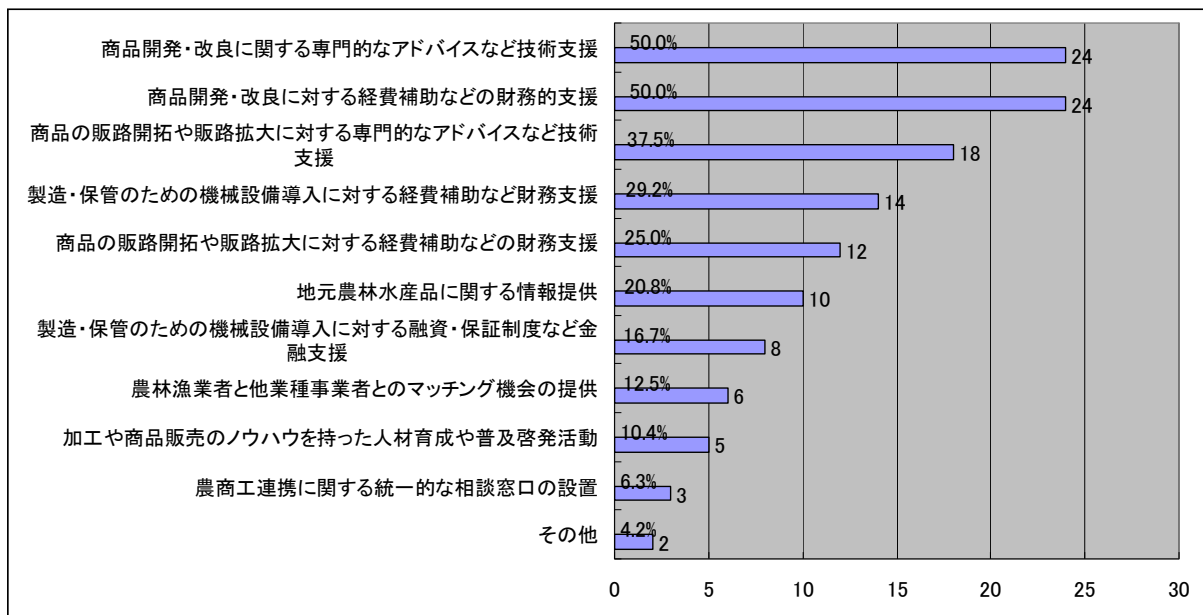
問12 貴社では、製造設備や保管設備などの新增設の構想・計画はありますか。
次の中から1つ選んで番号を記入してください。

製造設備や保管設備といったハード整備については、50.0%が新增設する考えはないと回答している。「現在、具体的な設備新增設の構想・計画がある」という回答が6.3%（3件）あったほか、「今後、協力企業や行政の支援があれば設備新增設を検討してみたい」という回答も35.4%あった。



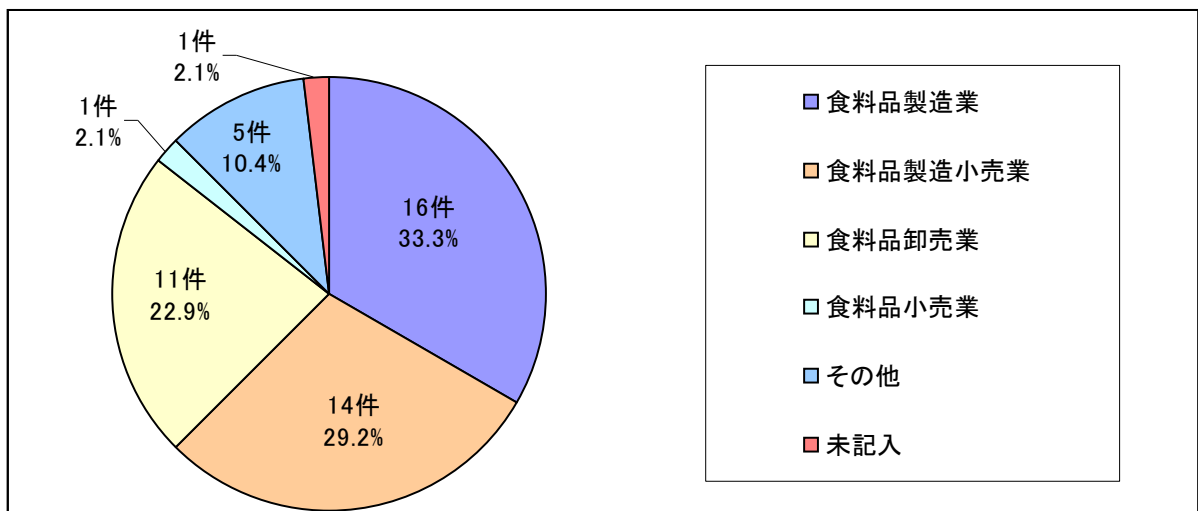
問13 あなたは（記入された方のお考えで結構です）、秋田市内や秋田県内の農林水産品を活用した商品開発・改良や商品製造を進めていくためには、どのような行政支援が有効だと思いますか。3つ以内で記入してください。

「商品開発・改良に関する専門的なアドバイスなど技術支援」（50.0%）、「商品開発・改良に対する経費補助などの財務的支援」（50.0%）、「商品の販路開拓や販路拡大に対する専門的なアドバイスなど技術支援と経費補助などの財務的支援」（37.5%）の順となっている。

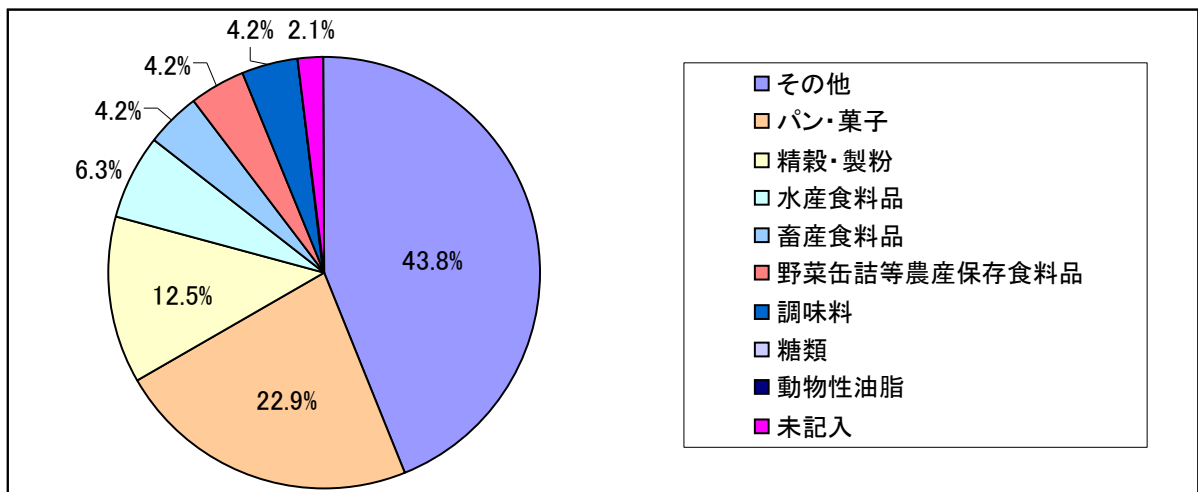


(参考) 商工業者の基本属性について

主な事業



主に製造している製品



主な出荷先

